



島根高P連だより

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL:https://shimakp.jp/



目次

- 「想像力」と「創造力」
島根県高等学校PTA連合会長 大屋 光宏
- 島根大会は、2021へ延期に
- 「ふるさと島根を学びの原点に」
島根県教育委員会教育長 新田 英夫
- 国立感染症研究所による新型コロナウイルスへの正しい理解をするためのオンライン教材
出雲高等学校PTA会長 杉浦 弘明
- PTA活動紹介 出雲工業高校/隠岐島前高校
- 令和二年度高P連総会について
- 新型コロナウイルス感染症に伴う主な支援に関する情報提供
- コミュニケーションの必要性
松江工業高校PTA会長 野々村 卓也



「想像力」と「創造力」



島根県高等学校PTA連合会長
(島根県立矢上高等学校PTA会長)

大屋 光宏

本年度、島根県高P連の会長を務めます、大屋光宏です。みなさまには、日ごろのPTA活動への参加と協力に対して心よりお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症は沈静化しつつある状況ではあるものの、みなさまの生活に大きな影響を与え、子どものこと、仕事・生活のことなど大きな不安を抱えていることと推察しています。

今般のコロナ禍の最大の犠牲者は高校生を始めとする子どもたちだったのではないのでしょうか。日常が大きく変わり、当たり前だった勉強、部活そして友人たちと遊ぶことができなかつただけでなく、九月入学が取りざたされるなど、就職・進学など将来に対しても大きな不安を抱いたことと思います。

しかしながら、これらは私たち大人が経験したことのない貴重な体験です。私は、変化の激しい社会で生きていくためには「瑞々しい創造力」が重要だと考えています。一方で今日のコロナ禍を鑑みると未知のものに対応するときには、今何が起きているのか、今後何が起くるのかを考える「想像力」も必要だと感じました。今の高校生たちは、今般のコロナ禍での経験を貴重な体験として、「想像力」と「創造力」により、自分たちの生きていく社会を自らの

手で作り上げていくってほしいと願っています。

一方で私たち大人も、社会が大きく変化する時代では、学び続けなければ子どもたちの手本であり応援者であり続けることができせん。コロナ禍は、私たちPTAの学びの場も奪ってしまいました。

本年八月に島根において開催予定だった「第七十回全国高等学校PTA連合会大会」は来年度に延期になりました。準備に関わっていただいた多くの会員のみなさまに心よりお礼申し上げますとともに、会員の学びの場がなくなつたことを申し訳なく感じています。

大会は来年度に順延です。新型コロナウイルス感染症が終息していても今までも同じ形式の大会が開催できるのか不安はたくさんあります。私たち大人も「想像力」と「創造力」により、本会の新たな挑戦として島根から全国へ元気を発信し復興の証となる大会を開催できることを願い準備を進めていきたいと考えています。

日常生活が取り戻せず不安が多いとは思いますが、本年もPTA活動が、子どもたちの学力、体力そして心の健やかな成長を支え、参加するみなさまの学びの場となるよう努めていきます。引き続き本会の活動にご理解・ご協力をお願いいたします。

島根大会は、2021へ延期に

第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会

本年度八月に開催予定でした全国高P連大会島根大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、四月初め中止が決定いたしました。その後四月末、全国高P連は島根大会を令和三年に延期し、その後の開催予定都道府県は開催が一年ずつずれすることを発表いたしました。それを受けて、島根県高P連は大会準備を継続することになりました。これまで、今年の大会実施のため各高校のPTAの皆さまには、大会成功に向けて一所懸命に準備に取り組んでいただきました。たいへんお世話になりました。心より感謝申し上げます。新しく会員になられる方は、大会準備を引き継いでいただくこととなります。事務局といたしましても、延期になった島根大会を成功裏に終わることができるよう努力して参ります。どうぞ、よろしくお願いたします。

ただし、新型コロナウイルス感染症は今のところ収束の見通しが立たない状態であり、今後の社会情勢(再度の感染拡大、新しい生活様式の実施継続)などによって、大会規模の見直し、会場の変更等も考えられます。この場合、主催者である全国高P連と大会実施方法について協議していくこととなり、それに伴って大会実行委員会組織の再編も考えられます。

どのような形での開催になつても、全国から参加されるPTA会員の皆様を、安全の元で、温かく迎え入れることができるよう、島根県高P連挙げて準備を進めて行かなければならないと思っております。会員の皆さまのより一層のご協力をお願いしたいと思います。高P連事務局では、この時勢に合わせ、大会テーマと大会趣旨の見直しを検討しております。なお、急遽組み直すこととなった大会会場案・大会日程案は、会場施設のご理解とご協力を得て、左記のように今年予定していた大会並みに準備をすすめております。

大会日程案(2021)

- 八月二十三日(月) 前日会議 (文責 事務局長)
- 八月二十四日(火) 分科会
- 八月二十五日(水) 全体会

大会会場案

- くまびきメッセ(分科会、全体会)・松江市総合体育館(分科会、全体会)・島根県民会館(分科会)・安来市総合文化ホール(分科会)・三刀屋文化体育館(分科会)・出雲市民会館(分科会)

「ふるさと島根を学びの原点に」



島根県教育委員会教育長

新田 英夫

保護者の皆様には、平素より、本県の教育活動に對しまして、御理解と御協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、幅広いPTA活動を通じて、各高校を力強く支えていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、学校における新型コロナウイルス感染症対策の取組におきましては、長期間の臨時休業により、授業をはじめ学校の諸活動が行えないことなど、皆様に様々な御負担をおかけしております。こうした状況に対しても、格別の御理解、御協力を頂いておりますことに、重ねてお礼申し上げます。

さて、これからの社会は、人工知能(AI)をはじめとする急速な技術革新やグローバル化の二層の進展など、大きく変化することが予想されます。人口減少や高齢化が進む本県においても、子どもたちを取り巻く環境の変化は複雑で予測が難しくなっております。

このようなか、県教育委員会では、本年三月に、今後の本県教育の基本理念や施策の方向性を示した「しまね教育魅力化ビジョン」を策定いたしました。「マジヨ

ンでは、本県の教育の目指す姿を示す基本理念を「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」と定めました。

家族に愛され、地域の人々から大切にされて育つこと、また豊かな自然、歴史、伝統、文化、産業など地域の資産に直接触れる経験は、周囲の人々や生まれ育った地域への愛着や、ふるさとを誇りに思う気持ちに繋がります。このような気持ち「自分の存在」への感じ方に反映されると、子供たちの心の中に「自己肯定感」が育まれます。子どもたちには、島根に育ち学んだ自信、絆を胸に、自らの人生と未来を切り拓き、夢や希望の実現を力強く目指してもらいたいと思います。

現在、すべての県立高校においては「教育の魅力化」の取組を進めています。地域の子どもたちにとのよう「育ってほしいのか、何を実現していくのか」という目標やビジョンを、学校、家庭、地域・行政など様々な主体が協働して策定し、地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の実現を目指してまいります。

今後とも一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

国立感染症研究所による新型コロナウイルスへの正しい理解をするためのオンライン教材



出雲高等学校PTA会長

杉浦 弘明

新型コロナウイルス感染症(以下 本感染症)によりお亡くなりになられた皆様によりお悔やみを申し上げます。罹患された方々のご回復を願うとともに、ご本人及び関係者様の心労を大変心配します。

本感染症は罹患後重症化し、その結果死亡することがある大変危険な疾患です。一方で大多数の方は感染しても無症状か軽症であるが故に発生から瞬く間に世界中に蔓延してしまいました。本稿執筆時点では予防ワクチンが開発されておらず、感染拡大防止対策のために全ての方が物理的距離を空けウイルスが伝播できなくさせるしか手立てがありません。このため県内の高校生も休校により自宅生活を余儀なくされ、学校での教育の機会が失われました。特に三年生は受験、就職、課外活動について大きな不安を抱き、二年生は本来の晴れやかな高校生活がスタートできませんでした。また保護者の方はお子様の健康と教育環境を大変心配されています。

出雲高校PTAは生徒及びご家族の感染予防対策と不安軽減のケア及び学習環境の最適化策を協議した結果、休校中を利用して本疾患について生徒に自らが正しい情報を得て考える手段を学んでいただくことにしました。二〇〇七年に出雲市教育委員会と国立感染症研究所で学校等欠席者・感染症情報システムを共同開発しました。現在では全国の学校の六十%以上で導入され、日々全国の生徒、児童の健康観察が行われている経緯がございます。この縁があり同研究所の先生が本校のために無償で「新型コロナウイルス(COVID-19)への正しい理解をするためのオンライン学習教材」を作成して下さいました。

その内容は、「インターネット上の公式情報を用いた情報収集」「ウイルスの特徴 国内・世界」「本疾患の流行予測」「感染に伴う偏見と差別の三章から構成されています。安易なマスコミ情報や根拠のないネット情報に惑わされることなく、事実確認(ファクトチェック)の習慣をつけることを目標としています。また、同じ文章がタイプA:英文のみ、タイプB:英文、日本語併記、タイプC:日本語のみで執筆されており英語を学ぶ工夫がなされ選択は生徒の自主性に任されています。ウェブ上で読後の質問に回答するようになっています。いずれ機会があれば本教材の評価を発表させていただきます。

最後に本感染症流行対策に様々なご立場の方が日夜ご尽力されていることに感謝申し上げます。流行終息後にはもとの文化的、健康的な学園生活の再開を切に願う次第です。

参考 出雲高等学校ホームページ

<https://www.izumo-hs.ed.jp/information/28935>



PTA 活動紹介

出雲工業高校PTA活動

島根県立出雲工業高等学校 PTA会長

塩野 稔昭

本校は昭和十九年の創立以来七十五年の歴史をもち、これまで二万五千名を超える人材を多方面に輩出することで、日本の産業界に歴史を刻んでまいりました。特に近年は地元企業への就職者が多く、地域産業の担い手として、また若者の定住による地域や島根県の活力アップの役割を果たすなど、その貢献度は地域からも高い評価をいただいております。

次代を担う専門技能従事者を育てる事を目的とした本校のPTAは、年二回の評議員会、総会において事業活動並びに予算、決算の承認を得て活動しております。例年、総会後には新入生保護者を対象とした研修会を行い、昨年度は外部講師を招いて近年何かと問題となることが多いSNSをはじめとしたインターネットメディアとの付き合い方について勉強しました。地区ごとに選出された評議員を中心に地区PTAでの情報交換や、交通安全パトロール、夜間街頭パトロールなども継続して行っており、出雲地区PTA生活指導協議会に参画するなど、市内の各高校とも積極的に相互協力しております。

本校は昭和十九年の創立以来七十五年の歴史をもち、これまで二万五千名を超える人材を多方面に輩出することで、日本の産業界に歴史を刻んでまいりました。特に近年は地元企業への就職者が多く、地域産業の担い手として、また若者の定住による地域や島根県の活力アップの役割を果たすなど、その貢献度は地域からも高い評価をいただいております。

交流をはかる事のできる研修を行っております。昨年度は佐田町のカウベルさんで牧場体験をしながらのピザ作りや、本校の実習棟でものづくり体験として溶接作業を伴うキャンドルスタンド作りも行いました。体育祭では「つばさの会」を中心に、バザーや手作りカレールイスの販売を行い、生徒たちからも好評を得ております。

参加いただいた保護者の方には、普段何かと疎遠になりがちな高校でのPTA活動の中で、子どもたち、教員の皆さんと一緒に楽しく活動をしました事がよい思い出になったと喜んでいただけた。今年度は新型コロナウイルスの流行により、例年通りの活動が難しい面もありますが、子どもたちが安心して学校生活を送れるような環境を、今後も整えていきたいと考えております。



つばさの会 研修会 ピザ作り



つばさの会 ものづくり研修会 溶接作業

PTA 活動紹介

隠岐島前高校PTA活動

島根県立隠岐島前高等学校 PTA会長

澤井 和行

島根県立隠岐島前高等学校は、隠岐諸島の島前地区・海士町にあります。

本校は島前地域で生まれ育った生徒と全国から集まってきた「島留学生」の生徒がいる高校です。全校生徒約百六十人と、いう小さな学校ですが、生徒の多様性は全国でも有数ではないかと自負しています。生徒達は全国各地から集まった級友や地域の皆さんと交流することで多様な世代の生き方・考え方に触れながら毎日を通じています。

本校の会員は全国各地にいたるため頻りに学校において活動することはできませんが、例えば東京や大阪での学校説明会の応援など各自ができる範囲の中で活動を行っています。

そのような隠岐島前高校PTAが行った活動の一部を紹介します。



新入生保護者交流会

PTAとしての最初の行事は入学式後に行われる新入生保護者交流会です。新会員が三燈寮(男子寄宿舎)に集い、生徒が親元を離れて高校生活を迎えるこ

とに対する保護者としての不安や悩みを共有しながら、学校と保護者がより強く連携するための第一歩を踏み出します。

七月初旬のPTA地区別懇談会は島前地区三町村のそれぞれで開催し、会員相互の親睦を深めながら情報交換を行います。

また、八月末の学園祭「碧燎祭(へきりょうさい)」では、生徒と保護者で軽食や飲み物などを販売し、多くの来校者に購入していただいております。さらに

その日の夜には、PTAと島親の交流会を開催し、百名を超える参加者をむかえる大きな会になります。

このように様々な行事の中で島の内外を問わず会員相互が交流し、活動する機会がありますが、中には荒天等による船の欠航で開催できない行事もいくつかあります。そのような中にありながらも今年度も様々な活動をおして地域・学校・PTAが一体となって活動していきたいと考えております。



文化祭出店

令和二年度 高P連総会について

令和二年度定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、代議員七四名による書面決議の方式で実施された。その結果、提案された議案はすべて承認された。

提出議案

- 一、令和元年度公務、事業報告
 - 二、令和元年度会計決算及び監査報告
 - 三、令和二年度役員(案)
 - 四、令和二年度活動方針(案)
 - 五、令和二年度主要(行事予定)(案)
 - 六、令和二年度予算(案)
 - 七、非接触型体温計の各学校配付について
 - 八、県高P連関係各表彰の被表彰者の決定並びに全高P連等表彰等の推薦
 - 九、島根県高等学校PTA連合会表彰規程の改定
 - 十、全国高P連大会島根大会の延期について
 - 十一、令和二年度島根県高P連研修会
 - 十二、令和二年度島根県高P連総会
 - 十三、報告事項
- 第八号議案については、表彰規定によって下記の方々に感謝状と記念品、表彰状が贈呈されることが決まりました。

令和2年度島根県高等学校PTA連合会役員表

役員	選出地区等	氏名	所属高校	所属校校長
会長	西部	大屋 光宏	矢上	志波 英樹
副会長	東部	本常 賢一	松江北	常松 徹
	中部	今岡 学	出雲商業	日向 伸之
	女性代表	豊田 さゆり	矢上	志波 英樹
	校長協会	志波 英樹	矢上	
評議員	松江	小玉 佳彦	情報科学	鳥居 俊孝
		長廻 達也	松江農林	吉岡 正弘
	雲南	吉川 晋二	横田	黒田 克司
	出雲	塩野 稔昭	出雲工業	宇津 誠
	大田	岩谷 宏一	大田	渡邊 宏志
	浜田	永見 監	浜田	熊谷 修山
監事	益田	青木 聡	津和野	宮島 忠史
	東部	大江 将幸	安来	
	中部	吉岡 孝	飯南	
事務局	西部	坂根 勉	邇摩	
	事務局長	勝部 昌幸		
	事務局次長	恩田 佳雄		
	事務局員	加藤 淳子		

感謝状贈呈(敬称略)
林 幸一(津和野高校)

表彰状贈呈(敬称略)
森廣 雅樹(出雲商業高校)
布施 憲祥(江津高校)
山根真一郎(浜田高校)
高橋 宏聡(益田高校)
万代 勉(隠岐島前高校)

また、全国高P連会長表彰に次の団体と個人を推薦することとした。

**令和二年度全国高P連会長表彰
団体表彰候補**
松江商業高校PTA
出雲高校PTA


個人表彰候補(敬称略)
林 幸一(津和野高校)

非接触型体温計配付決定
第七号議案で承認された非接触型体温計を各学校に配付しますので、コロナウイルス感染症対策にご活用ください。


第六十三回中国・四国地区高P連大会 徳島大会
●とき 令和三年七月十六日(金)
●ところ アスライとくしま(徳島市)
●テーマ 未定

※県高P連ではこの大会参加のための独自の宿舍を確保いたします。ご利用ください。
「大会案内」発送は令和三年四月中旬の予定です。

情報提供




新型コロナウイルス感染症に伴う 主な支援に関する



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校の臨時休業を含め様々な活動や催しが中止や延期となりました。経済も大きな影響を受け、家計への影響がでていきます。

高P連ではHPで新型コロナウイルス感染症に関する情報提供として県教育庁人権同和教育課からの支援の情報を紹介しています。内容は、「新型コロナウイルス感染症に伴う主な支援一覧」「新型コロナウイルス感染症で不安を抱える保護者の皆さんへ」「高等学校等卒業後に利用できる貸付制度等(在学中の予約制度も含む)」です。

高P連事務局のHPをご覧ください。下記のQRコードからも入れます。



寄稿

コミュニケーションの必要性



松江工業高校PTA会長

野々村 卓也

近年子どもたちを取り巻く環境は、私たちが育ってきた時代と大きく異なり、モノや情報が溢れ、進化していると思います。特に1丁の発達による、インターネットの普及によって子どもを含めた社会全体のコミュニケーションの形態が、メール、ブログやFacebook、インスタグラムなど会話をしなくても通じるスキルになってきています。SNSは私たちの生活には欠かせないものになってきている反面、1つ使い方を間違えると、事件事故に巻き込まれる可能性があることを認識しなくてはなりません。今や高校生の8割が、スマートフォンを持っている事を踏まえて、私たちが保護者も子どもたちと一緒にルール作りをする必要があると考えます。

(今からの時代は、さらに変革の時代になるでしょう)。近年企業により採用の際に人材に求められるのが「コミュニケーション能力」と言われています。若者のコミュニケーション能力が低下していることの理由として、先程申しましたSNSの普及が要因となっています。私自身が聞き上手になること。そして、聞き上手になるために相手の話に共感すること。また、会話によるコミュニケーションは言葉のキャッチボールではないでしょうか。このことは子どもだけでなく私たち大人社会でも大事です。高校生になると何かと多感な頃であり将来の方向性を決める大事な3年間でもあります。家庭、学習環境、部活動、地域等でのコミュニケーション能力を高め、笑顔溢れる学校生活を送ってほしいと願います。



しまね学生登録

島根からエール!



「しまね学生登録」は、高校卒業後進学される方を対象に、就活の情報やイベントの案内、ふるさと島根の情報などを、学年に応じてお届けする島根県の制度です。
登録については、高校3年時に学校を通じてご案内します。

本制度は島根県の委託により「ジョブカフェしまね」が運営しています。

《松江》0120-67-4510
《浜田》0120-45-4970



公益財団法人
ふるさと島根定住財団

ジョブカフェしまね

「ゆうひパーク三隅」(浜田市)

事務局だより

オンラインショッピング、オンラインゲームなどオンラインが頭にく言葉は以前からありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大とともに「オンライン授業」「オンライン診療など」「オンライン〇〇」という言葉が増えました。わが家の大学生が緊急事態宣言終了後、帰省し、七月までの授業がすべて「オンライン授業」になったと言っているので、どんなふうになるのか、聞いてみました。九十分のズームを使った授業で、その時間にしか視聴できないものといつでも視聴できるものがある。前者は質問時間があり、質問すれば先生に画面を見ながら回答してもらうことができ、その回答は視聴者全員がみることが出来る。授業の課題が専用のサイトにアップされており、ダウンロードし、仕上げて、そのサイトに送付する。回答が手書きの場合、スキャナーで読み、PDF化して送る。締切があり、その時間を過ぎると受付されない。課題の提出を持って出席と見なす授業がある。課題がサイトに届くと「受け付けました」という自動配信メールが届く。以上が概要です。このオンライン授業を受けるにはカメラ付きのパソコン、スキャナー付きプリンターとインターネット環境(Wi-Fi環境)が必要です。わが家のルーターは古く二台しか安定して繋がらなかったのが買い換え、わが家のICTも少し進歩しました。今後、感染症対策の環としてICTを利用した様々な「オンライン〇〇」や「テレワーク」が増えてくると思いますが、対応できる環境整備が必要になると感じました。

事務局では、高P連全国大会島根大会の延期を受け、「あと〇日」というめぐりカレンダーを再作成しました。七月一日であと四八日となりました。引き続き、会員の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。